



## ドミニカ共和国での施策

### 歴史的背景

ドミニカ共和国では3人に1人が貧困にあえいでおり、2012年の失業率は14%を超えています。農村部ではカカオの栽培が主な経済活動であり、都会への人口流出を防ぐ最後の砦なのです。カカオの栽培が多くの生産者家族の最低限の生活を支えています。

1985年以来、生産者が団結し、CONACADO（ドミニカカカオ生産者組合）を1988年に設立しました。現在KAOKAは、530を超える生産者とパートナーとして取り組んでいます。

KAOKAはそのノウハウを活かして、接ぎ木に使用される厳選されたカカオ品種と試験区画を集めたクローナルガーデンの運営と、農園再生計画への資金提供を行っています。



### 品種：トリニタリオ

最適な栽培方法により、ヒスパニオラ豆<sup>※</sup>の持つフルーツの香りと力強い風味が引き出されます。ヘーゼルナッツ、アーモンド、ラズベリーの香りが蜂蜜とカカオの優しい風味とあわさって、香り豊かでバランスの取れたチョコレートになります。

※ドミニカ共和国では「サンチェス」と「ヒスパニオラ」の2種類のカカオ豆が生産されています。「サンチェス」は発酵せずに乾燥されたカカオ豆で、主にココアバターや大量生産のチョコレート菓子用に輸出されています。

「ヒスパニオラ」は発酵・乾燥されたカカオ豆です。発酵段階を経ることで繊細な風味を引き出されたヒスパニオラ豆は、品質の求められるクーベルチュールやクラフトチョコレートに使用されています。）



# KAOKAの取組結果

in ドミニカ共和国（2019年）

100%

KAOKAのカカオは  
100%オーガニック・  
フェアトレードです

2カ所

カカオ集積センターの数

12日/年間

KAOKAによる  
農園訪問・指導日数

495人

パートナーである  
カカオ生産者数

554トン

カカオ輸出量

2 250ヘクタール

認証を受けた農園の面積